



第147号

発行所 (一社)千葉食品コンビナート 協議会事務局
発行責任者 長谷川 恵
所在地 千葉市美浜区新港 31
TEL 043 (242) 1655

空き缶・タバコ・ゴミの投げ捨てはやめましょう

年頭のご挨拶

(一社)千葉食品コンビナート協議会 会長 加瀬 晴久



二〇二〇年の新しい年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
新年を迎え会員の皆様のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

皆様には、日頃より、千葉食品コンビナート協議会の運営に格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと「令和」という新しい年号がスタートしましたが、秋に台風十五号による強風の影響、次の十九号では高潮と重なり防潮扉を閉める可能性の心配、最後は二十一号の集中豪雨により千葉市は甚大な被害を受けました。今までも台風は接近しておりますが、こんなに続けて大きな被害は無かったかと記憶しております。今回の台風被害に遭われた多くの皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて昨年の千葉食品コンビナート協議会の活動を振り返りますと、CFCとして二十四年目になります新入社員研修会を四月に開催し昨年度を上回る九社三十一名の参加があり、フォローアップ研修も十月に開催し、毎年研修生には「報・連・相」や「コミュニケーション」の重要性を実感して頂きました。五月には第四十五回通常総会が開催され、当協議会顧問の熊谷市長にもご来賓のご挨拶を頂戴しました。総会後の懇親会でも関係官庁のご来賓の方々より御挨拶を頂戴しました。スポーツ関係では、第五十二回大会を迎えた伝統と歴史のある野球大会が開催されましたが、台風十五号、十九号等の影響もあり、敗者復活戦を含め二十

試合予定をしていましたが、半分の十試合しか出来ず寂しい大会となってしまいました。決勝戦は四連覇を狙う日本通運チーム対日新化工チーム(千葉食品コンビナート)との対戦となり、日新化工チームが四年ぶり二回目の優勝を勝ち取りました。そして第九十二回、第九十三回のゴルフ大会を開催しましたが、毎回数名初参加の方がいらっしゃり、会員企業の懇親を深める大会となっております。

新港地区として当協議会も加入しています新港地区連絡協議会では、昨年六月の定時総会後に熊谷市長により特別講演会を企画し、新港地区に起業する会社の経営者の方々に聴講して頂きました。その他にも関係団体や、千葉県、千葉市との交流を深め、新港地区における経済・交通・環境等の施策や防犯・防災対策などの諸問題について情報交換会等を行ってまいりました。

さて、今年の干支は十二支の最初の「子の年」。五穀豊穡、財力、新しいものが生み出される年と言われています。各企業様、皆様一人一人が夢に近づくための行動をとって頂き、新たな気分で企業発展につなげて頂きたいと思っております。

千葉食品コンビナートは、設立以来、消費者のニーズに応えるべく、「安全で安心」な「食」にこだわり、首都圏をはじめ各地区に向けて豊かで安全な食品を安定供給する基地としての役割を担って活動しています。これからも会員企業連携のもと、引き続きその使命を果たすべく、各社の協調体制のもと、食品製造業の振興、千葉港地区周辺の活性化の振興に努めてまいります。

今後とも関係官庁のご指導・ご鞭撻、会員各社の皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げますとともに、会員各社の益々のご発展と、皆様のご健勝・ご多幸をお祈りいたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

令和二年 元旦



会長 加瀬 晴久
副会長 加藤 文明

常務理事 金澤 範和

理事 山田 修

理事 上田 恵治

理事 飯塚 裕之

理事 白鳥 悟嗣

理事 祐源 通延

理事 横川 聰

理事 藤本 正

理事 尾崎 克俊

理事 益田 典

監事 松井 誠治

監事 松本喜代司

監事 中島 照次

監事 能勢 信幸

監事 加納 理

監事 出野 大成

監事 高岡 良史

監事 富久保勝也

事務局長 長谷川 恵

# 年頭メッセージ

千葉県知事 森田 健作



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年、台風と大雨で

は、これま

でにない甚大な被害が発生し、今なお不自由な生活を余儀なくされている方々がいらっしゃることを存じます。

一般社団法人千葉食品コンビナート協会の皆様には、救援食糧や義援金の御協力を賜り、心から感謝申し上げます。県では、被災された方々の生活再建や産業の再生等の取組を総合的に進めるとともに、防災対策の一層の充実や強化を図り、「災害に強い千葉県づくり」を推進してまいります。

本県において食料品製造業は、製造品出荷額一兆円を超える主要な産業です。中でも千葉食品コンビナートは、製糖、製油、製粉など、原材料から日常食料品まで、安全・安心な食料品の一大供給地として人々の日々の食を支える重要な役割を果たされており、会員の皆様による食品の品質管理や安定供給に対する不断の御努力に深く敬意を表します。

さて、今夏いよいよ東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックが開催されます。県では、開催効果を最大限に活用し、オール千葉でおもてなしの機

運醸成や積極的な観光プロモーションに取り組むとともに、大会を通じ、人材育成や地域活性化につながるよう国際交流を進めてまいります。

また、本県の発展を支える社会基盤の整備についても、首都圏中央連絡自動車道の令和六年度の全線開通や、湾岸地域における規格の高い新たな道路ネットワークの早期具体化への取組を推進してまいります。

さらに、経済の活性化については、地域未来投資促進法に基づく基本計画のもと、地域経済をけん引する企業の取組を後押しするとともに、様々な支援を通じ、県経済の更なる活性化を推進してまいります。

六三〇万県民の皆様とともに、「がんばろう！千葉」を合言葉に千葉を元気づけ、次世代に誇れる光り輝く千葉県の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。結びに、貴協議会のますますの御発展と、会員企業ならびに従業員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

# 年頭のご挨拶

千葉市長 熊谷 俊人



一般社団

法人千葉食品コンビナート協議会の皆様、

明けましておめでと

う

ございます。

輝かしい新年を、健やかに迎えたいことと、お慶び申し上げます。

皆様には日頃より、加瀬会長を中心にご協力いただき、食品の安定供給を通して市民生活の向上に大きく貢献いただいておりますこと、さらには、千葉市経済の振興・発展はもとより、市政各般にわたり多大なるご支援・ご協力を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

昨年は、「令和」という新しい時代の幕開けや、第九十回都市対抗野球大会で千葉市代表のJFE東日本硬式野球部が初優勝するなど華やかなニュースがあった一方で、台風十五号・十九号・集中豪雨により、建物の損壊や土砂災害、浸水被害、長期停電などが発生し、本市も大きな被害を受けました。あらためまして、被災された皆様を中心によりお見舞いを申し上げますとともに、今後はよりいっそう、災害に強いまちにすべく努めてまいります。

市政では、市民生活への影響に配慮しながら、財政健全化を着実に進めるとともに、小・中学校における普通教室のエアコン整備や中央区役所の移転など、市民の皆様の未来につながる施策や市民サービスの向上に力を入れた一年でありました。

本年は、東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されますが、大会の成功はもちろんのこと、障害のある人もない人も共に生きる共生社会が根付くなど、大会後も市に財産として残るよう取り組んでまい

ります。さらに、稲毛海浜公園や乳牛育成牧場のリニューアル、千葉駅西口B工区の完成など、新たなまちづくりを推進してまいります。

地域経済の活性化へ向けては、新たな産業用地であるネクストコア千葉菅田が昨年末に概成し、今年度も引き続き、積極的な企業誘致による雇用の創出、税源の涵養を図ってまいります。また、新港地区においては、補助要件を通常より緩和する優遇措置など、注力した取組みを継続するとともに、既存施設における追加投資や増設などに対する補助により、引き続き市内企業の皆様の追加投資への支援を行います。

さらに、より深刻化していくことが想定される人手不足に対しては、生産性の向上や人材育成・処遇改善へ向けた支援に加えて、雇用のミスマッチ解消などへも、より積極的に取り組んでまいります。

本年も市民の皆様が将来に希望を持ち、千葉市が魅力と活力にあふれるまちとしてさらに発展するよう、市政運営に全力で取り組んでまいります。併せて、二〇二二年には市制一〇〇周年、二〇二二年には政令市移行三十周年、二〇二六年には千葉開府九〇〇周年など様々な記念行事も控えておりますので、引き続き市政へのご支援・ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

年頭にあたり、一般社団法人千葉食品コンビナート協議会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝・ご多幸を祈念して、ご挨拶といたします。



# 令和二年千葉食品コンビナート 新年賀詞交歓会

令和二年二月十六日



加藤副会長乾杯

令和二年千葉食品コンビナート新年賀詞交歓会を二月十六日(木)十七時三十分からオークラ千葉ホテルにおいて開催いたしました。出席者は昨年より増え一六三名の方々に出席して頂きました。年頭にあたり、加瀬会長より次の通り新年のご挨拶がありました。

「皆様、新年明けましておめでとうございます。本日は多数の参加を頂きありがとうございます。ありがとうございます。」

この千葉食品コンビナート協議会新年賀詞交歓会は昨年が一五七名、今年は一六三名となっております。毎年盛会となつて



加瀬会長挨拶

おります。

昨年も当協議会で毎年恒例となつております四月の新入社員研修及び十月のフォーローアップ研修では、本日ご来賓の目賀田先生にお世話になりました。先生には今回も福引大会の賞品として、大吟醸酒をご提供頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。また、第五十二回を迎えました歴史と伝統のある野球大会は、皆様ご存知の通り台風十五号、十九号の影響をもろに受け、敗者復活戦を含め二十試合を予定していましたが、半分の十試合しかできませんでしたが、今年は大会が盛り上がることを願っています。



伊藤理事

佐々木理事

さて、今年の干支は十二支の最初の「子の年」。五穀豊穰、財力、新しいものが生み出される年と言われています。各企業様、皆様一人一人が夢に近づくための行動をとって、新たな気分で企業



目賀田先生

の会員企業様から協賛品をご提供して頂き、参加者の三人に一人が賞品を貰え、参加された皆様には大変喜んで



高木取締役

水野社長

今年度の福引大会は、今まで以上に多くの会員企業様から協賛品をご提供して頂きました。今年度二十五年目を迎える新入社員研修で講師として大変お世話になっております、オフィスパレイズ代表の目賀田美奈子先生からご挨拶を戴きました。また毎回CFC野球大会では審判としてご協力頂いています千葉市野球協会の佐々木理事様並びにCFC合同送迎バスでお世話になっておりますミズノ興業代表取締役の水野社長様から、一言ずつご挨拶を頂戴しました。

今年度の福引大会は、今まで以上に多くの



金澤副会長締め

今年度は賞品が多くなった分、抽選会の進め方を考慮して歓談のお時間を調整しました。予定通り十九時に中締めのご発表を金澤副会長にお願いし、「この一年が皆様にとって良い年となることを祈念致します」と今年も三本締めで締めて頂き、新年賀詞交歓会はお開きとなりました。



福引大会

頂いた抽選会となりました。今回賞品をご提供して頂きました会員企業様に改めて御礼申し上げます。また来年もどうぞよろしくお願致します。福引大会が終了したところには、様々な料理や握り寿司、ローストビーフもきれいに無くなり、皆様にもご満足して頂いたかと思えます。

発展につなげていって頂きたいと思えます。千葉食品コンビナート協議会の各企業の益々のご清栄と本日ご出席頂きました皆様方のご健勝と本年も良い年となります様に祈念して、私の挨拶とさせていただきます。」

続いて、加藤副会長から「ご列席の皆様とCFC各社のご健勝とご多幸を祈念して」との音頭で、声高らかに乾杯のご発声を頂きました。

来賓として、今年で二十五年目を迎える新入社員研修で講師として大変お世話になっております、オフィスパレイズ代表の目賀田美奈子先生からご挨拶を戴きました。また毎回CFC野球大会では審判としてご協力頂いています千葉市野球協会の佐々木理事様並びにCFC合同送迎バスでお世話になっておりますミズノ興業代表取締役の水野社長様から、一言ずつご挨拶を頂戴しました。





第93回ゴルフ大会

# 第93回 CFCゴルフ大会

二〇一九年十一月九日(土) 袖ヶ浦カンツリー倶楽部新袖コースに於いて、第九十三回 CFC ゴルフ大会を開催しました。大会当日の朝は少し肌寒く曇りの天気でしたが、スタートから少し経つと暖かくなり絶好のゴルフ日和となりました。

参加者は五組十九名、今回は少なめですが初参加の方も数名おり、毎回会員同士の親睦を深めて頂いております。

優勝者は金澤範和氏(サミット製油株)がネット

ト72.6で優勝。準優勝は、中島照次氏(日本サイロ株)。ベストスコアは祐源通延氏(千葉共同サイロ株)が獲得しました。ゴルフ場も台風十五号、十九号で被害を受け、会場の新袖コースは約二、〇〇〇本の樹木が倒壊したとのことでした。

プレー後の表彰式では、各賞の発表の後、優勝の金澤氏並びに準優勝の中島氏にご挨拶を頂き、所用でお帰りになられた加瀬会長の代わりに加瀬副会長より中締めのご挨拶を頂きお開きとなりました。

次回第九十四回 CFC ゴルフ大会は、二〇二〇年五月三十日(土)に、同じ袖ヶ浦カンツリー倶楽部新袖コースにて開催します。皆様奮ってご参加ください。



金澤氏・加瀬副会長・中島氏

第五十二回 CFC 野球大会開会式・前夜祭を、二〇一九年九月十三日(金)、ホテルポートプラザに於いて開催しました。今年は昨年度の十三チームに日本タンクターミナルチームがエントリーし、合計十四チームでの大会となりました。トーナメント戦は九月十五日(日)から熱戦が繰り広げられ、今年も昨年同様第二回戦までの敗者が「敗者復活戦」に臨みます。今大会は六日間二十試合を予定しています。

大会開会式では、最初に協議会の加瀬副会長よりご挨拶を頂き、昨年度の優勝チーム(日本通運)、準優勝チーム(山崎製パン)からそれぞれ優勝旗、優勝杯、準優勝杯が返還され、加瀬副会長からそれぞれレプリカを贈呈して頂きました。

直後の前夜祭は、加瀬副会長の乾杯のご発声が始まり、懇親会では今年も各チームより「今大会の抱負」を発表して頂きました。お互いチーム同士、和やかな雰囲気の中で懇親を深めて頂き、最後の中締めは能勢副会長の一本締めでお開きとなりました。

## CFC 野球大会前夜祭



一本締め



準優勝杯返還



優勝旗返還



### 野球大会試合結果

千葉食品コンピナート協議会(CFC)の「第五十二回CFC野球大会」は、十一月十日(日)新港運動公園野球場にて準決勝・決勝戦が行なわれ、日新化工が四年ぶり二度目の優勝を飾った。今大会は二つの台風の影響をものに受け、全二十試合のうち棄権が十試合で、予定の半分しか試合ができない大会だった。

今年の決勝戦は三連覇を狙う日本通運と順調に勝ち上がってきた日新化工との対戦。

#### 《決勝戦》

日本通運	0	0	0	1	0	0
日新化工	1	0	2	0	0	0
				×		
					3	1

(日通) 伊藤・梅田―早坂  
(日新) 高野―押原

日新化工は、一回相手失策もあり無安打で一点を先制。三回に相手失策と連続適時打で二点を追加。日本通運は六回、安打と盗塁の走者を五番の適時打で一点を返したが、日新化工の高野の完投で逃げ切った。

優勝監督は、山崎剛監督(日新化工)、最優秀選手は、押原輝捕手(日新化工)、打撃賞は、後藤聖亜選手(日新化工)、敢闘賞は伊藤篤投手(日本通運)が選出された。

尚、決勝戦の記事は、昨年十一月二十日(水)の千葉日報千葉版(朝刊)に掲載された。



準優勝 日本通運チーム



優勝 日新化工チーム

- 優勝 日新化工チーム
- 準優勝 日本通運チーム
- 第三位 白鳥製薬チーム
- 日本タンクターミナルチーム



「2019年11月20日付18面 千葉日報」



#### 《第一回戦》

◎九月十五日(大会一日目)

※試合会場はすべて新港運動公園野球場

△一回戦(第一試合)

日新化工	0	3	3	4	7
ニューポート産業	1	0	0	0	1

(五回時間切れゲーム)

(日) 高野―山崎

(二) 岡本・斉藤―椎名

ニューポート産業は一回先頭打者ライト前安打に続き二番佐々木がレフトオーバー適時打で二点を先制したものの、二回以降に安打がでずこの一点のみ。日新化工は八番藤永が本塁打を含む四打数四安打。チームも四死球で走者ため長打で走者を返し、十一安打で効率よく十七点を取り圧勝。

△一回戦(第二試合)

日清製粉对新東日本製糖は、新東日本製糖の棄権により日清製粉の不戦勝。

△一回戦(第三試合)

関電工対日本タンクターミナルは、関電工の棄権により日本タンクターミナルの不戦勝。

◎九月二十九日(大会二日目)

△一回戦(第一試合)

古谷乳業対サミット製油は、古谷乳業の棄権によりサミット製油の不戦勝。

△第一回戦(第二試合)

白鳥製薬	0	0	0	1	0	0
千葉製粉	0	0	0	0	0	1

(白) 田中―石井(昌)  
(千) 谷川―蔵下

白鳥製菓は、四回死球、センター前安打で走者のため、内野ゴロの間に二塁走者が本塁生還。これが唯一の得点。千葉製粉は一回から五回までに四安打を放つも打線が繋がらず無得点に抑えられ無念の借敗。

△一回戦(第三試合)  
不二製油対日新製糖は、日新製糖の棄権により不二製油の不戦勝。

《第一回戦》

◎十月二十日(大会三日目)

△第二回戦(第一試合)

山崎製パン対日新化工は、山崎製パンの棄権により日新化工の不戦勝。

△第二回戦(第二試合)

日清製粉対日本タンクターミナルは、日清製粉の棄権により日本タンクターミナルの不戦勝。

△第二回戦(第三試合)

サミット製油対白鳥製菓は、サミット製油の棄権により白鳥製菓の不戦勝。

△第二回戦(第四試合)

日本通運	5	2	3	2	4
不二製油	0	0	0	0	0
					16
					0

(五回コールドゲーム)  
(日) 尾田―早坂  
(不) 山口―野口

日本通運は、相手投手の乱調もあり

毎回の十四安打、十六得点で圧勝した。不二製油は四回三番塚田の一安打に抑えられ敗退。

《敗者復活戦》

◎十月二十七日(大会四日目)

△敗者復活戦(第一試合)

ニューポート産業	0	0	0	0	0
新東日本製糖	0	0	2	5	×
					7

(5回コールドゲーム)  
(二) 齊藤・岡本―飯田  
(新) 奥村―中村

新東日本製糖は、三回相手失策と四球で走者のため無安打で二得点。四回に安打三本を繋ぎ一挙に五点を得点し突き放した。ニューポート産業は、一回先頭打者齊藤が二塁打を放つも安打はこの一本のみ、相手投手に十三三振に抑えられ無得点に終わった。



△敗者復活戦(第二試合)  
関電工対不二製油は、関電工の棄権により不二製油の不戦勝。

△敗者復活戦(第三試合)

日新製糖	0	0	0	0	0
千葉製粉	2	4	0	2	×
					8

(五回コールドゲーム)  
(日) 東牧野―中野  
(千) 谷川―蔵下

千葉製粉は、一回四球の走者をレフトオーバー安打で返し二点を先制。二回も安打三本を繋ぎ四点と効率よく得点。終わってみれば七安打八得点で快勝した。日新製糖は、千葉製粉谷川の好投に阻まれ無安打無得点に終わった。

△敗者復活戦(第四試合)

古谷乳業対山崎製パンは、古谷乳業の棄権により山崎製パンの不戦勝。

◎十一月三日(大会五日目)

△敗者復活戦(第一試合)

不二製油	0	0	0	0	0
新東日本製糖	1	9	1	1	×
					12

(五回コールドゲーム)  
(不) 田中―町田  
(新) 岡本―中村

新東日本製糖は、二回失策と相手投手の乱調もあり三安打で一挙九点を挙げ試合を決めた。不二製油は、二安打に抑えられ無得点で敗退した。



△敗者復活戦(第二試合)

千葉製粉対山崎製パンは、山崎製パンの棄権により千葉製粉の不戦勝。

△敗者復活戦(決勝戦)

千葉製粉	0	0	0	1	0	0
新東日本製糖	1	0	2	1	0	×
					4	1

(六回時間切れゲーム)  
(千) 谷川―蔵下  
(新) 奥村―中村

新東日本製糖は、一回二安打と犠牲フライにより一点を先制。三回も四球の走者を二本の安打で返し二点追加。結果的には八安打四得点で勝利した。千葉製粉は、一回四球の走者を出すものの後続が三振に倒れ無得点。四回に死球と失策で走者のため内野安打の間に一点をとるも、好投奥村に二安打に抑えられ無念の敗退。新東日本製糖は敗者復活戦の決勝に勝ち総合第四位となった。





《準決勝戦》

◎十一月十日(大会六日目)

《準決勝戦》(第一試合)

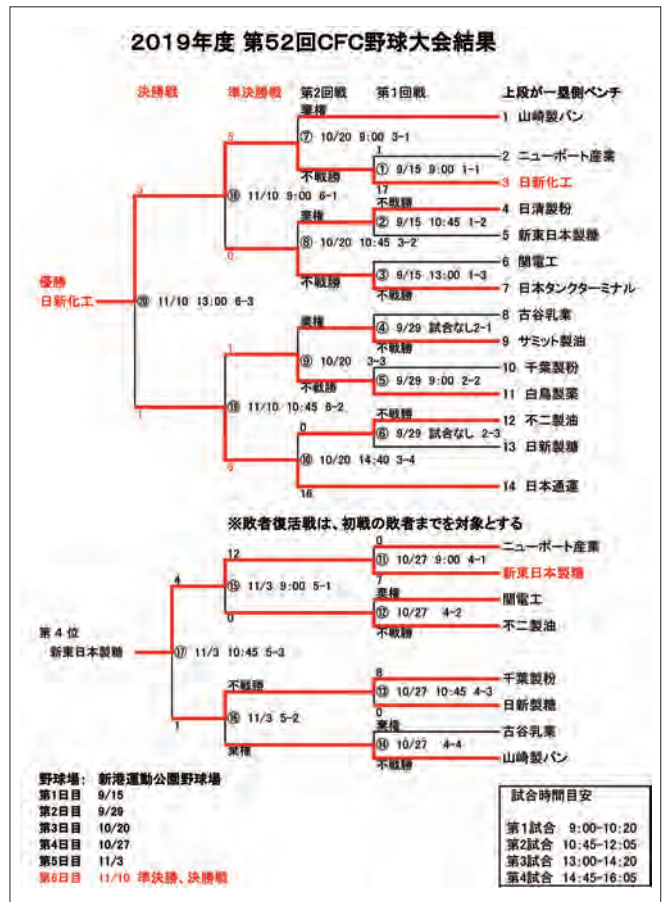
日新化工	2	0	0	1	1
日本タンクターミナル	0	0	0	0	0
(日新) 押原・高野					
(日本) 秋山・豊島・太田・遠藤					
					5

日新化工は、一回二番熊倉の本塁打で二点を先制。五回に押原の適時打で一点を追加。終盤の六回、七回にも五安打で二点を追加し相手を突き放した。日本タンクターミナルは、相手投手押原の好投により一安打に抑えられ敗退。

《準決勝戦》(第二試合)

日本通運	1	0	0	2	2	0
白鳥製菓	0	1	0	0	0	0
(日) 伊藤・早坂						
(白) 田中・石井(昌)						
						1
						6

日本通運は、一回先頭打者が安打と失策で三塁まで進塁。内野ゴロの間に一点を先制。四回に森下の二塁打等で二点を追加。五回も伊藤の本塁打で二点を追加し、白鳥製菓を突き放した。白鳥製菓は、二回石井(昌)のレフトへの犠牲フライで一点を返し、日本通運の伊藤から五安打を放つも最後まで打ち崩せなかった。大会六日目、準決勝を勝抜いた日新化工チームと日本通運チームが決勝戦にコマを進めた。



第二十四回 新入社員 フォローアップ研修

第二十四回CFC新入社員フォローアップ研修会を二〇一九年十月三日(木)、四日(金)の二日間、千葉市文化センターにおいて開催しました。講師は、今年で二十三年目になります、オフィスプレイズ代表の目賀田美奈子先生です。今回の参加者は、八社二十八名(男性十五名、女性十三名)で実施しました。

今回のフォローアップ研修の目的は、『生き生きと働き続けるために基本を確認する。組織人として協働する。』

自分を生かす」です。

四月の研修では、「挨拶」「言葉使い」「電話応対」等が役に立ったとの意見が多く、今回の研修では、「基本の見直し」「簡潔に分かりやすく(報連相)」「社内外のコミュニケーションの取り方」等をしっかり身につけたいとの意見が多く聞かれました。

今回もコミュニケーションの方法(文書のみ、言葉のみ、文書と言葉)を使い分け、何が必要なのかゲームを通して理解を深めて頂きました。

来年は新たに後輩が入社し先輩となる皆さん、どうぞ良き先輩として新入社員のお手本となってください。

フォローアップ研修会では、

- ・ 一目目
- ・ キャリアデザイン
- ・ 生き生きと働き続けるために基本を再認識する
- ・ 六か月を振り返ってグループディスカッション&発表
- ① 新人研修で役立ったこと役立たなかったこと
- ② 今後への希望
- ③ 今回の研修に望むこと
- ・ 組織で働くということ I (疑似体験組織Kゲーム/デイスカッション/発表)
- ・ 目的確認の重要性・ハウレンソウや指示の受け方・報告の仕方・コミュニケーションスキルVC&NVCの重要性を再確認
- ・ 組織で働くということ 指示の受け方・報告の仕方 職業人の心構え



図形伝達ゲーム

- ・話し方のポイント 聴き方のポイント 再確認
  - 二日目
  - ・昨日の振り返り
  - ・コミュニケーション 聴くこと・伝えること・目的を理解することの重要性 (図形伝達ゲーム 二回実施 ディスカッション/発表)
  - ・組織で働くということ II
  - ・情報の取り扱いとわかりやすい説明、目的を忘れないこと (バスは待ってくれないゲーム/ディスカッション/発表の仕方)
  - ・『上司への手紙』&アンケート記入
- 強調項目**
- 四月の新人研修では、学生から社会人への切り替えとして、社会人の基本として知っておくべき五原則『挨拶・身だしなみ・表情・態度・言葉遣い』を中心に修得してもらう研修をして頂きました。フォロー研修では、組織人として協業

新人を信頼したうえでまず自分たちで考えさせ体験させ、自ら問題点をみさせたくうえで基本の習得へと導いて頂きました。

研修修了後、皆さんに左記の点についてアンケートに答えて頂きました。

「今回の研修の良かった点」

- ① 行動にはすべてに意味があることを様々な例を挙げて教えて頂いた
- ② 上司とのコミュニケーションの取り方を教えて頂いた
- ③ 電話対応や名刺交換などロールプレイをすることですっかり身についた



組織疑似体験ゲーム

できる人材になるために、「積極性・目的意識・一人で抱え込まない(報告・連絡・相談の重要性)」ということを強調して研修して頂きました。特にバーバルコミュニケーション(言葉を遣ったコミュニケーション/シミュレーション)を磨く時間とし、社会人から組織人へと成長するために、学生との大きな違いを疑似体験から学べるように工夫されています。



地図作成ゲーム

- ④ マナーを基本から教えて頂いた。普段から身の回りを気遣うことの大切さを知った
  - ⑤ 研修を受け、以前より人前に出ることと自信が持てるようになった
  - ⑥ 具体的な例での説明や先生の実体験をお聞きしとても分かり易かった
  - ⑦ 座学だけでなく実際に身体を動かす研修で理解しやすかった
- 研修生の皆さんは、様々なスキルが身についたと感じてくれたようです。
- 新入社員研修は、フォローアップ研修を修了して初めて「修了書」が授与されます。修了書を手渡された研修生は、半年前より一回り成長したように感じます。研修内の「バスは待ってくれないゲーム」というグループ別にコミュニケーションを取りながら、地図を作成し、皆にプレゼンをする演習では、大分前の記録を更新(速さ、内容とも)するグループも現れました。来年度はまた新しい新入社員が入社して

きます。今度は先輩として後輩の見本となつて頑張ってください。

次回二〇二〇年度第二十五回新入社員合同研修会は、既にご案内しておりますが、左記の日程で企画しましたので、是非多くの新入社員に参加して頂きたいと思っております。研修会を通じて他社との交流を持つことも一つの財産だと思います。また、お忙しいとは思いますが、実際に研修風景をご覧いただきご意見等を頂ければ幸いに存じます。今後の研修会の活性化につなげていきたいと思っております。



修了証をもって記念撮影



### 《第25回新入社員合同研修会》

日程：2020年4月9日(木)  
～10日(金)  
9：30～16：30

場所：千葉市文化センター9階  
会議室2～4  
千葉市中央区中央2丁目5番1号  
千葉中央ツインビル2号館  
TEL 043-224-8211

※昨年度の4月研修と同じ会場です。

## 千葉県臨海北部工業連絡協議会の視察研修に参加

千葉県臨海北部工業連絡協議会(臨海協)主催の県外視察研修に参加しました。通称「臨海協」は、千葉県商工労働部産業振興課 産業・新エネルギー企画室が事務局です。

### 《第一回研修(県外視察)》

日程：二〇一九年十月二十五日(金)  
場所：①ジャパン・リニューアブル・エナジー(JRE)(株) 神栖バイオマス発電所  
②(株)横河NSエンジニアリング 鹿島工場  
参加者：二十五名(当協議会からは五名の参加)

ジャパン・リニューアブル・エナジー(株) 神栖バイオマス発電所は、二〇二二年に再生可能エネルギーによる発電・売電事業を主たる目的として設立されました。神栖バイオマス発電所は、波崎工業団地内の約二万㎡の土地を敷地とした、発



JRE

電出力二四、四〇〇kwの一〇〇%木質バイオマス専焼発電所で、年間発電量は、約二億kwh(約四五、〇〇〇世帯分の年間消費電力に相当)。燃焼された後の焼却灰は、路盤材、土壌改良材として再資源化されています。燃料となる木質材を常に一定量キープ(保管)することが難しいとのことでした。  
午後は(株)横河NSエンジニアリング 鹿島工場を見学しました。同社は二〇〇九年、(株)横河ブリッジホールディングスと住友金属工業(株)(現日本製鉄(株))の共同出資事業会社として誕生しました。  
大型化する新形式の橋梁や土木鋼構造物に対応した自動化ライン、三次元原寸処理システム及びNC機器を保有し、原寸から自動化ラインまでの一貫した生産管理体制を構築しています。千葉県の橋梁については、「妙典橋」や「銚子大橋」等を施工しています。



横川NSエンジニアリング

第二回県内視察研修会は、二月二十五日(火)に予定され、古谷乳業(株)成田工場様の見学もコースに入っております。

### 【視察研修ごぼれ話】

今回の視察研修には、加瀬会長にも参加して頂きましたが、朝から台風二十一号の影響で大雨の中での見学となりました。見学終了後東関東自動車道で三時間余りもバスの中に閉じ込められるアクシデントがありました。何とか無事帰宅することができました。

### \*千葉県臨海北部工業連絡協議会

千葉県商工労働部産業振興課産業・新エネルギー企画室が事務局となり、千葉市、習志野市、船橋市、市川市及び浦安市の各団体が構成されており、研修会、県内外の視察研修(工場見学等)を実施している協議会です。

## 環境美化活動

平成十九年四月から食品工業団地内の環境美化を目指し、道路上の「空き缶・タバコ・ゴミの投げ捨て」をなくす活動として、毎月第三番目の水曜日の九時から一斉清掃をお願いしています。日頃から会員各社のご協力により活動の成果を上げております。

千葉市では「千葉市路上喫煙等及び空き缶等の散乱の防止に関する条例」に基づき、路上喫煙やポイ捨ての防止の周知や巡視活動を行い、美しく快適で安全なまちづくりを目指しています。また、より効果をあげるために、巡視員がその現場を確認次第、違反者から過料を徴収するなど、取締りや罰則を設けています。今後も食品工業団地内全体の環境美化の一環として、会員各社様の益々のご理解・ご協力をお願い致します。今年度も活動を継続し、環境美化を目指しましょう。(陸上部会)

一人ひとりの心掛けて、町を美しく...

空き缶・タバコ・ゴミの投げ捨てはやめましょう。

(一社)千葉食品コンビナート協議会

毎月第三水曜日 一斉清掃実施

# 一般社団法人 千葉食品コンビナート協議会 会員一覧

2020年1月1日現在

NO	事業所名	郵便番号	所在地	電話番号
1	オリエンタル酵母工業株式会社千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港8-2	043-244-6111
2	株式会社関電工 東関東営業本部 千葉支店	260-8558	千葉市中央区新宿2-1-24	043-370-4700
	〃 〃 千葉営業所	261-0002	千葉市美浜区新港46	043-244-5215
3	関東港業株式会社 千葉営業所	261-0002	千葉市美浜区新港58-2	043-241-1721
4	関東砂糖株式会社 (本社)	104-0033	東京都中央区新川2-9-1 新川KHビル4階	03-3555-1900
5	サミット製油株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港38	043-242-3351
6	サミット美浜パワー株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港35	043-238-7997
7	白鳥製菓株式会社 (本社)	261-7128	千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGマリブイースト28F	043-307-8977
	〃 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港54	043-242-7631
8	新東日本製糖株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港36	043-242-8641
9	大東製糖株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港44	043-302-3108
10	大有株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港13	043-204-5061
11	千葉共同サイロ株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港16	043-241-1231
12	千葉県米穀株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港10	043-242-6151
13	千葉製粉株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港17	043-241-0111
14	千葉埠頭サイロ株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港17	043-248-2226
15	株式会社ニチレイフーズ	261-0002	千葉市美浜区新港9	043-248-2107
16	日新製糖株式会社	103-8536	東京都中央区日本橋小網町14-1	03-3668-2422
	〃 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港52	(代) 〃
17	日清製粉株式会社 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港8-1	043-246-7101
18	一般財団法人 日本穀物検定協会	261-0002	千葉市美浜区新港60-2	043-241-9308
19	日本サイロ株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港3-2	043-241-0316
20	日本タンクターミナル株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港2-1	043-238-6211
21	日本通運株式会社 千葉支店 千葉中央事業所	261-0002	千葉市美浜区新港153	043-247-0202
22	日本甜菜製糖株式会社	108-0073	東京都港区三田3-12-14 ニッテン三田ビル	03-6414-5522
	〃 千葉物流センター	261-0002	千葉市美浜区新港30	043-301-7714
23	ニューポート産業株式会社	261-0002	千葉市美浜区新港50	043-246-5502
24	株式会社ネオテック	261-0002	千葉市美浜区新港28-1	043-247-9101
25	株式会社フロンティア	261-0002	千葉市美浜区新港42-4	043-301-8338
26	古谷乳業株式会社	260-0026	千葉市中央区千葉港7-1	043-241-0331
27	不二製油株式会社 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港35-1	043-204-3399
28	株式会社マルハニチロ物流千葉物流センター	261-0002	千葉市美浜区新港1-3	043-241-6111
29	株式会社美浜フーズ	261-0002	千葉市美浜区新港12	043-247-1553
30	ミヨシ油脂株式会社 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港2-5	043-247-3440
31	向島運送株式会社 千葉美浜事業所	261-0002	千葉市美浜区新港27	043-203-5201
32	山崎製パン株式会社 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港22	043-246-7111
33	理研ビタミン株式会社 千葉工場	261-0002	千葉市美浜区新港56	043-243-1122
	( 計 33 社 )			

## 編集後記

歳を取ると1年が経つのが本当に早く感じます。千葉食品コンビナート協議会の事務局長を仰せつかりもうすぐ3年になります。先月のCFC賀詞交歓会では、年々参加者が増え今年は160名以上の方々に参加して頂きました。毎年恒例の福引大会では、理事の皆様にお声掛けし、沢山の賞品をご提供頂きました。参加者の皆様楽しんで頂けるイベントとして、今後も趣向を凝らしていきたいと思っております。

毎年5月に開催しています通常総会についても次年度より夕方からの開催に切り替えます。前例踏襲ではなく、総会後の懇親会でも出席された皆様がゆっくりと懇親を深められるよう企画したいと考えております。

このCFCのあり方を考え、関係官庁との連絡を密にし、会員の皆様にとって有益な情報は随時提供させて頂きながら、いろいろな意味で頼りになる事務局を目指していきたいと思っております。今後も皆様からご指導頂きたく、宜しくお願い申し上げます。